

# 海外留学(SAプログラム)体験記

Study Abroad Programでは、入学から2年生春学期までの1年半でSA参加の準備を整え、2年生秋学期に、世界10カ国7言語圏に広がる16大学のいずれかに留学します。

## ヨーク大学 (2016年8月~2016年12月)



細井 はるなさん



私は初めて約4ヶ月という長い期間日本を離れて過ごしましたが、カナダでの生活は新鮮なことばかりで、毎日が楽しく本当にあっという間でした。最初の頃は、自分の英語に自信がなく緊張してばかりでしたが、ホストファミリーが温かく受け入れてくれて、自分が安心して居られる場所があったので、すぐに生活に慣れました。授業は、テストの結果によりクラス分けされたので、自分に合ったレベルで文法からエッセイ、リーディング、そして特に苦手であったリスニングとスピーキングの力も徐々に

けることができました。私はこのSAで、SA前には出会うことのなかった様々な文化や価値観を持つ人々と出会えて、自分の世界が大きく広がりました。そして何より、心から「また会いたい」と思える友達もたくさんできました。まだまだ英語力は十分ではないけれど、SAでの経験を通して本当に多くを得ることができ、自分なりに成長できたと思います。これからも色々なことに挑戦して頑張っていきたいです。

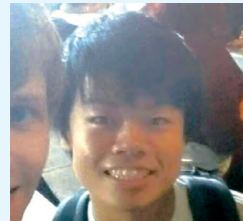


## ザンクトガレン大学 (2016年8月~2016年12月)

※SAスイスは、2019年度よりSA先国・大学が変更となります。

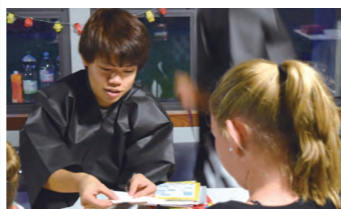


安井 一起さん



SAスイスではドイツとスイス、ニヶ国に滞在することが大きな特徴です。8月はドイツのコンスタンツでサマースクールに参加し、9月から12月にかけてスイスのザンクトガレンに滞在します。サマースクールには様々な国からドイツ語を学びに来る学生が集まるので、ドイツ語を学習するにはとても良い環境です。ザンクトガレンでは文法や読解の授業はもちろん、ザンクトガレンの歴史やEUについての授業もあり、すべてドイツ語で行われます。またSAスイスはホームステイではなく、学生寮で暮ら

すことも特徴の一つだと言えます。寮では3~5人の他国の留学生と生活するので、ドイツ語だけでなく英語も鍛えることができます。週末にはスイスだけでなく、ほかのヨーロッパの国を旅行で訪れ、歴史や文化を感じることが出来ます。はじめは慣れない異国での生活に困惑しましたが、SA生活を通して語学力だけでなく、自発性、積極性など自分の内面的な部分をも鍛えることができたので良かったです。



## 西部カトリック大学 (2016年9月~2017年1月)



川名 玲央さん



SAフランスは西部カトリック大学付属の語学学校CIDEFに留学します。ホームステイなのでフランスの家庭で楽しく生活することができます。授業は自分のレベルに合ったクラスで、熱心でおもしろい先生といるいるな国から来ている留学生と一緒に学びます。毎日の学校生活が多文化な環境に囲まれ刺激的でした。それを活かし、ただフランス語を学ぶだけでなく歴史や習慣などを様々な国の視点で共有しながら学べるのも貴重な経験になります。もちろんスポーツや共通の趣味からフラン

ス人の友人を作り、プライベートも充実させられるでしょう。彼らと過ごした時間は忘れられない最高の思い出です。フランス人はおしゃべりが大好きで、彼らと語り合ったことが私のフランス語とコミュニケーション能力を大きく成長させてくれました。また、留学中の休み期間を使ってヨーロッパの国々を旅行することもSAフランスの魅力の1つだと思います。この留学で今、学生の自分にしかできないことに挑戦してみてください!



## ペテルブルク国立交通工科大学 (2016年9月~2017年2月)



杉江 千紘さん



「将来、自分の武器となるような言語を身につけたい」と思いSAロシアを選びました。国際文化学部では諸語圏を留学先に選んでも、1年生の時には英語の必修科目もあります。2年以降も希望すればERP(※)と呼ばれる英語の少人数授業をとることができます。私が暮らしていた寮は授業が行われるロシア語センターから徒歩5分、目抜き通りであるネフスキー大通りまで地下鉄で一駅と好立地です。私はモンゴル人や台湾人と同じクラスで、週5日、1日2コマの授業を受けました。文法学習はもちろん

ロシアの歴史や寓話をロシア語で読んだりもし、「一日も休みたいくない!」と思える充実した内容でした。休日は日本語を学ぶロシア人の友人たちと過ごすことが多く、5カ月の留学が終わる頃には、自分の会話力、ロシア語理解力の急成長ぶりに驚くはず。最前列で見たバレエ「白鳥の湖」、8回通っても見切れない壮大なエルミタージュ美術館、思い出すだけで涙が出るほど美しく、時に気温は-20度を下回りまつ毛も凍る神秘的な街、サンクトペテルブルクへの留学に挑戦してみませんか?

※ERP:英語強化プログラム(English Reinforcement Program)。一定の英語力を備える学生を対象に、英語スキルの養成とその統合を目的とした授業を展開しています。1クラス10名程度の少人数授業で、講師はネイティブスピーカーが中心です。



## 上海外国語大学 (2016年9月~2017年1月)



澤田 仁志さん



SA中国は、世界有数の経済都市上海の中心地からも近い上海外国語大学で約4か月間中国語を学びます。大学の国際交流学院に所属し、多くの外国人と共に学びます。授業はすべて中国語ですが、テストの結果により初級から高級までクラス分けされ、自分に合ったレベルの授業を受けることができます。先生方はとても熱心でどんな時でも質問に答えていただけるので、自分のペースで安心して学べます。精読、読み書き、会話の授業があり、総合的に中国語のレベルを上げられることが魅力です。宿舎も学校の敷地内にあり、とても便

利です。宿舎内は、清潔かつ静かであるため勉強に集中できます。そして、多くの外国人と交流できるので中国以外の国の文化にも触れることができます。また外国人とルームシェアをすれば(※)、部屋にいても中国語を使う環境を作れます。日本文化を紹介する活動を通して行われる現地の方との交流や北京、西安旅行などのプログラムに参加するため、より深く中国を理解できます。素晴らしい環境で学べるため、積極的に学ぶ姿勢があれば一生の宝物になる経験が必ずできます!! ※同時期に寮を利用する外国人学生とマッチングができた場合、ルームシェアが可能です。



## バルセロナ大学 (2016年9月~2017年1月)

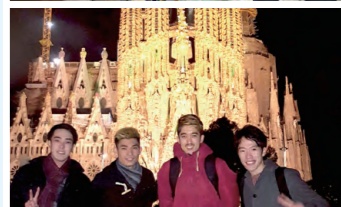


土方 裕喜さん



SAスペインは市の中心にあるバルセロナ大学に通い、午前中はスペイン語の授業、午後はスペインの文化の授業を受けます。共にレベルに応じたクラスで受けることができ、各国から来た留学生と一緒に受けるので、とても充実していました。また大学は立地がとてもいいので、授業後はショッピングやカフェに行ったり、ガウディの有名な建造物であるカサバトリョ・カサミラ・サグラダファミリアなどを訪れたりする事が出来ます。週末は3日間休みがあるので、スペイン国内のみならず、周

辺の国を旅行することが出来るのもいい所の1つです。滞在先の寮は2つあります。それぞれ良さがありますが、僕が選んだ方は毎食食事が出て、寮内はほとんどスペイン人というとても良い環境でした。またFCバルセロナの本拠地カンプノウもとても近く、サッカー好きにはたまりません。SAを通してスペインの文化を知るだけでなく、離れる事で分かる日本の良さなど新たな発見もすることが出来ました。残りの大学生活やその先にも影響を与えるとても貴重な5ヶ月間を過ごしました。



## 韓国外国語大学 (2016年9月~2017年2月)



堀田 真央さん



SA韓国では、最初に受けるレベル分けテストによってクラスが決まります。自分と同じくらいのレベルの人達と勉強できるので、とてもいい環境です。よく会話に出てくる文法を勉強できるので役に立ち、先生方も丁寧に教えてくださるので韓国語の力が飛躍的に伸びると思います。様々な国の人達と関わることができるのも魅力的です。私のクラスには、中国、ロシア、ポーランドなどから来た学生がいて、学校が終わったあと一緒にご飯を食べたり、週末に遊んだりしました。スキーや釜山旅行に行ったのもいい思い出です。

また、ネイティブの韓国人と友達になれたので、互いの母語を教え合う「言語交換」を週に一度行っていました。最初は頭で考えていることの10分の1くらいしか話せなかったけれど、「言語は練習すればするだけうまくなる」と言うように、徐々に上達していきました。日本と韓国は近く文化も似ているところが多いですが、実際に韓国で生活してみるとその違いの多さに驚くと思います。SA韓国で新たな韓国の一面を発見してみてください。



## Q&A SAプログラムについて

英語以外に外国語を学んだことがないのですが、諸外国語圏のSAに参加することは可能でしょうか?

### Answer

諸外国語圏のSAに参加する学生の大半は、大学に入学してからSA先の外国語を学び始めています。SAに参加するまでに、現地で必要とされる語学力が身につくように授業が設けられていますので、心配しなくても大丈夫です。

SAはいつ決定しますか?

### Answer

諸外国語圏(英語圏以外)のSAを希望する場合には、入学した年の4月に決定します。英語圏のSAを希望する場合には、4月に英語圏に留学することが決定し、1年春学期の成績と7月もしくは8月に行うTOEIC®-IPの結果などをともに、11月に英語圏のどの大学に留学するかが決定します。

SAのほかにもう1年留学したいのですが可能ですか?

### Answer

派遣留学制度、認定海外留学制度を利用した留学が可能です。国際文化学部では、留学を2年間までは修業年限として認めていますので、SA後、3年次で1年間の留学をしても、必要単位を満たしていれば4年間で卒業することができます。

SA費用の支払いについて教えてください

### Answer

SA費用は、学費とは別に法政大学にお支払いいただくこととなります(寮費など一部現地払いもあります)。支払方法は、「一括払い」と「分割払い(2回払い)」を選択することができます。支払時期はいずれも2年次で、一括払いおよび分割払いの1回目「7月」、分割払いの2回目「12月」を予定しています。支払金額は、法政大学がSA先大学に海外送金したのち決定しますので、毎年6月頃のご案内になります。SA参加者を対象とする奨学金制度も用意されていますので、17ページの詳細をご確認ください。なお、SA期間中の2年次秋学期の学費は徴収しません。